

射ぬけ

的の中心を

五穀豊穡

この野に祈り

燃やせ魂

紅色に



900年以上の歴史をもつ「高山流鏑馬」が10月20日に行われま
した。
今年の射手は中野紅くん（14才）。8月11日に流鏑馬保存会に
から射手に任命されました。普段
は引っ込み思案な性格の紅くんが
射手に手を挙げた理由は、子供の
頃、綱持ちの手伝いで射手の姿を
見たときに憧れをもつようになっ
たからだそうです。射手に任命さ
れた時の気持ちを伺うと、「緊張
しているけれど射手になれたこと
は嬉しい。無事に神事を成功させ
たい。」と語ってくれました。父
の雅仁さんは「息子の性格から、
射手になりたいと考えていたとは
思ってもみなかった。しかし、自
分から手を挙げてくれたことは嬉
しい。親として全力でサポートし
たい。」と話されていました。

9月2日、旧大隅線跡で本番に
向けての安全祈願祭と初練習が行
われ、紅くんの挑戦が始まりまし
た。初練習では「少し怖かった。」
と話していた紅くんも日々練習を
重ねるにつれ馬を走らせることが
できるようになり、射手になれた
ことが嬉しかったのか練習中に見
せていた笑顔も、射手としての責
任感を自覚しはじめ、本番が近づ
くにつれ真剣な表情へと変わって
いきました。本番までのわずか
2カ月足らずの間、射手という大
役を果たすために日々成長を遂げ
る少年の姿を取材し、900年
続く伝統行事「やぶさめ」の壮大
な歴史を改めて実感しました。

